

2018年猪苗代湖の上位蜃気楼発生状況

星 弘之（北海道・東北蜃気楼研究会）

1.はじめに

今年は昨年より雪が多く、観測・撮影に最適な場所に入れず、湖岸沿いの道路脇での観測・撮影を余儀なくされた。気温については桜の開花が10日以上早まるなど3月は前年より気温が高く、蜃気楼発生に適した天候にも恵まれ、3月4日に初見、以後8回観測・撮影することが出来た。例年、GWは最も天候が良く蜃気楼日和となるはずだったが風が強いなど天候に恵まれず、4月は2回のみで5月に入ってから6日まで「0回」であった。

2.発生状況

3月の発生日 4、13、15、18、27、28、29、31日（8回）

4月の発生日 29、30日（2回）

5月の発生日（0回：6日まで）

3. 3月13日の蜃気楼



撮影者からは湖上の船の前方に断崖絶壁があるように見えるが、船上の人達には見えない。

4. 3月18日の蜃気楼



3月18日の蜃気楼は一部が虹色に見えるもの（上）や、実景が大きく崩れずほぼ原形を保ち蜃気楼化、白い壁面がS字の様に変化しているもの（中）、テラスの半円状の屋根が多像化して串団子のように見えたもの（下）などを撮影することが出来た。

5.3月27日の蜃気楼



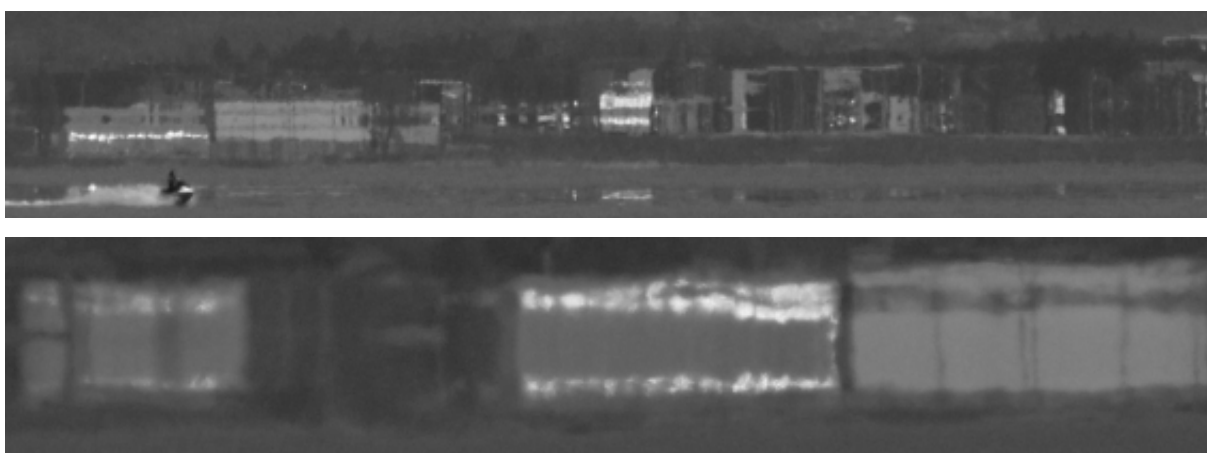
長浜から出航した観光遊覧船「白鳥丸」が今までに見たことの無いような不思議な変化をした。白鳥丸が蜃気楼化して縮み台船に乗っている様に見える(左)、台船が消え掛かっている(中)縮んだ白鳥丸の下に複数の像があるように見える(右)。このようなものは以前にも何度か撮影したことがある。

6.4月29日の蜃気楼



当日はGW初めの日曜日で猪苗代湖の各浜には水上バイクが集まっていた。太陽が高く昇り気温が上がって来ると一斉に沖に向かって出ていく、直線的に進んでいても急にターンをしたり、小刻みにターンを繰り返したり、その動きを蜃気楼と組み合わせると面白い絵になる。彼らは周囲が蜃気楼化しているなどとは思ってもいないであろう。

7.猪苗代湖で見た不思議な光



猪苗代湖北岸の堅田中丸交差点付近にあるビニールハウスが3像化して光っていて色がついていた。分光であろうか。ハウスの構造体が起因しているように思える。蜃気楼は風景だけでなく、光も変えてしまう。

8.最後に

今年も靄に悩まされたが時として素晴らしい蜃気楼に出会うことが出来た。魚津のように蜃気楼が人々の生活の中に現れることを表現したいと願っていた。蜃気楼をバックに湖上を疾走する水上バイクを撮影出来たことは幸いだった。多様な蜃気楼に出会うことで疑問が増し、頭の中は「？」だらけ、だが蜃気楼を見ている間は、次の瞬間どのように変化するのかと期待しながら、充実した時間を過ごせた。また来シーズン素晴らしい蜃気楼に出会えることを楽しみに待ちたい。